

オノマトペは楽し

固い話を続けたので、今回は寝休めのつもりで読んでいただければありがたい。本誌一月号「俳句月評」に榎未知子氏が、金子兜太氏の「へん々に惆落ちてばたばたす」や、原雅子氏の「芋虫のなほぶくぶくと進むなり」などを鑑賞し、「(自分も)オノマトペをあれこれ試してみたい」と書いていたのに触発され、オノマトペについて一考してみた。

①オノマトペは楽し

ある句会で、兼題の一つを「オノマトペで一句」と出したところ、小学生の女の子が、見事な創作オノマトペを使った句を作って、並み居る大人たちを脱帽させた。

バレンタインデーわたしの心はへりやりよりよう 松下真央

おそらく誰も使ったことのないオノマトペだろう。何冊かある擬音語・擬態語関係の辞典にも載っていない。バレンタインデーが近づいて、男の子たちの悲しげで物欲しげな日と合うと、途端に心が「へりやりよりよう」となるの

さらさらと悔いを振り出す新茶かな 山本和郎

「ピロピロ」や「むんぎゆむんぎゆ」の感性、「さらさら」のいなし方など、なかなか良い。

俳諧は三尺の童にさせよと言った芭蕉にも、

むめがかにのつと日の出る山路かな

馬ぼくぼく我を絵に見る夏野哉

などの句があつて、芭蕉が「のつと」と作つて以後、しばらく門弟の間で類似表現が流行したそうである。しかし、オノマトペ巧者としては、芭蕉よりも一茶であろうし、近代では、川端茅舎、秋元不死男であろう。

だが先ずは、現在活躍中の俳人の数句を引いてみる。(坪内稔典「オノマトペの名句一〇〇」『俳句』平成十三年八月号)の中から、適当に抽出)

三月の甘納豆のうふふふ	坪内稔典
パンジーのくすくす笑ひ止まらずよ	西村和子
里山やもくもくんと栗の花	矢島渚男
雨月かな声を殺すときどきして	池田澄子
ふはふはのふくるふの子のふかれをり	小澤 實

②擬音語・擬態語となるためのステップ

『現代擬音語擬態語用法辞典』(東京堂出版)によれば、外界の物音や人間・動物の声などを、そのものによらず模

福永法弘

Fukunaga Norihiro



だそうだ。「へなへな あるいは「へたへた」に似た感覚だろうが、芭蕉の言う「三尺の童」の言語感覚には舌を巻く。対象を知性で捉えるよりも、感性で直接掴む方がまだ勝っている年齢ゆえの創作ということだろう。

そこで、若い世代の感性に期待して、『俳句朝日』の「若手俳人六百人参上」(平成十七年八・九月号)の中から二十代作家の作品を見てみた。

牡蠣する唇をテユにすばませて

スッスツと爪に汁つく青みかん

かなかなのかなの睡魔に聞く講義

秋晴のツンと哀しき朝に会ふ

「テユ」「スッスツ」の形容、「かな」の睡魔、「ツン」

の哀しみなど、独自の感性を表しており、なかなか楽しい。三十代作家にも、面白いオノマトペ句があった。

ピロピロとおたまじやくしの日曜H

燕の子むんぎゆむんぎゆと座を移る

倣する方法にはいろいろあるが、具象的な現実から抽象的な言葉へ至るには、五つほどのステップがあるらしい。

先ずは、類似のもので同じ音を出そうとすること。つまり、自分の寝息で他人の寝息を再現するとか、幽霊の手振りを、実際に手振りで真似てみるとかである。次は、別な音などによる真似。楽器で犬の鳴き声を出してみるなどである。三番目は、絵や映像をデフォルメして表現してみること。そして、その次の四番目の段階ではじめて、文字による音や態の表現が出てくる。「へりやりよりよう」は、この四番目の段階に属する。ただしまだ、その表現は、個人の感性から直接発した個人言語の域にとどまっており、一般性を得てはいない。最終第五段階とは、その語が広く認知され、使われるようになることで、そこではじめて「擬音語・擬態語」と認定されるのである。冒頭、「へりやりよりよう」が擬音語・擬態語の辞典に載っていないかったと書いたが、それは実は、四段階レベルのオノマトペだったことによるのである。

先に引いた五句のオノマトペは、いずれも、五段階目の一般性を得ているものと言えよう。前後との関係がなくて、日本人のほとんどが、「うふふふ」「くすくす」「もくもく」「ときどき」「ふはふは」が、どのような状態や音を表すのか、かなり正確に理解できる。だが、坪内稔

吉村理恵
小畑 久
生澤佐紀枝
佐々木貴子
愛甲知子
笠井百合彦

創刊 渡辺水巴

曲水

主宰 渡辺恭子
編集・森田かずや

誌代 半年4,200円
(送共) 1年8,400円

〒180 東京都武蔵野市
-0023 境南町4-23-5

曲水社

振替 00140-0-25484
電話 0422-31-5218

典選「オノマトペ」の名句「○○」の中には、オノマトペだ
けを取り出すと意味不明、ちんぷんかんぷんのものもある。

チチポポと鼓打たうよ花月夜

松本たかし

冬の蠅病めばかり抱かれもし

鈴木真砂女

やらやらと朝やつてくる蝶氏など

阿部完市

ひんやりとしゆりんと朱夏の宇宙駅

攝津幸彦

これら「チチポポ」「かろく」「やらやら」「しゆりん」
なるオノマトペが一般性を得ているかと言うと、全くそう
ではない。それぞれは、そのままでは意味不明、あるいは
人によって異なる態や音を連想してしまう言葉である。そ
れはまさしく、作者の特異な感性に汲み上げられた個人言
語であって、それぞれの十七音の中においてのみ、息をす
ることを許されたオノマトペである。

「へりやりよりよう」も、これら四つと同じく、純真な
感性が汲み上げたオノマトペとして、真央さんの句の中で

また、歯が「きりきり」痛かった、頭が「ずきずき」
痛いという表現は音からではなく、感覚を文字にした
ものです。

桐の葉のきりきり空へ遠ざかる

ししししと痛む歯冬の夜が来る

質問なさった方の句です。「きりきり」は桐の葉が
遠くへ飛んでゆく感じ。「きりきり」を歯痛だけでな
く桐の葉にも使ってみる。「キ」の韻も生きてきます。
「しししし」にも実感があります。

俳句での擬音は省略された叙述を補う役目を果た
し、リズムを整えます。安易な乱用は慎むべきです
が、どうぞ自分流の擬音をおつかい下さい。(傍線福永)
例句から察するに、「自分流の擬音」とは、一般的に使
われている第五段階のオノマトペを、常套的慣用とは異な
った感覚に用いる場合を指しているようである。第四段階

のみ思づく第四段階の感覚語である。中原中也の繊細な魂
が「サーカス」で造語した「ゆあーん ゆあーん ゆやゆ
よん」に匹敵する創作オノマトペであるとも言えるだろう。

③創作オノマトペはどこまで許されるか

俳句の文法について、昨今、かなり騒々しい。であるな
ら、創作オノマトペについても、むやみに使っているのか
との疑問が湧いても不思議ではない。

宇多喜代子氏が、読売新聞に連載中の「作句のポイント」
の中で、こうした疑問に対し、読者の質問に答える形
で次のように述べている。

たとえば風や雨など、自然界の音を正確に表記する
ことは不可能です。同じ音でも、Aさんの耳の聞きと
めた音と、Bさんの聞いた音を文字表記してみるとま
ったく違ってきます。

のものについての言及はないが、特段の否定もない。

④オノマトペ俳句の先人

先人と言えは、誰より小林一茶である。

一村はかたりともせぬ日永哉

雪とけてくりくりしたる月よ哉

埋火や白湯もちんちん夜の雨

朝晴にばちばち炭のきげん哉

宵過や柱みりみり寒が入

一茶のオノマトペは実に多様である。だがどれも、第五
段階の一般化したものを、常套的な意味において使ってい
る。名手と呼ばれる所以は、その分かりやすさゆえだろう。

次に、川端茅舎である。
露の玉蟻たじ／＼となりけり
翡翠の影こん／＼と廻り

俳句
連句
随筆

ぐろっけ

主宰
品川鈴子

初心者歓迎

添削指導

誌代(送料共)

半年 6,000円

一年 12,000円

ぐろっけ俳句会

〒651-1123

神戸市北区ひよどり台

1-17-1 品川方

TEL & FAX 078(741)4472

振替 01150-7-68074

月刊

草の花

師系 藤田あけ鳥

初心者歓迎

草の花俳句会

代表 名和未知男

〒182-0012

調布市深大寺東町7-41-8

Tel/Fax 0424-85-1679

振替 00110-0-609905

誌代1年9,600円(送料共)
(見本誌 切手 500円)

百合の葉みなりんりとふるひけり

ひら／＼と月光降りぬ只制業

蟲の音のひりりと触れし髪膚かな

茅舎のオノマトベもまた、四段階目の個人言語ではな

く、一茶同様、一般化して擬音語・擬態語と認定されたも

のばかりだが、常套的慣用ではなく、独自の感覚表現に用

いることにより、無垢な感性世界が構築されている。

そしてもう一人、秋元不死男である。

烏わたるこきこきこきと鐘切れば

戦後すぐに発表されたこの句を最初にほめた西東三鬼

は、以来、不死男のことを「こきこき亭三」(不死男は

当時、東京三と名乗っていた)と呼んだそうである。

へろへろとワントンするクリスマス

多喜二忌や糸きりきりとハムの腕

寒卵コツと置く聖女学院

ライターの火のボボボボと滴溜るる

不死男のオノマトベ俳句は、戦前の新興俳句弾圧下での

およそ二年間の獄中生活を抜きには語れない。投獄前の不

死男には、オノマトベ句はほとんどない。それが、独房に

閉じ込められて視界が極端に制限され、聴覚ばかりが異様

に研ぎ澄まされた「効用」だったのだろうか、出獄以後、

オノマトベ俳句を量産し、名句を多く残した。

「こきこき」「へろへろ」は特異な語だが、擬音語・擬態

語の辞典には収録されている。創作オノマトベを数多く作

り出したと思われがちな不死男だが、個人の感性の生の表

出である第四段階オノマトベは案外少ないのである。

⑤最近の作品より

『俳句年鑑』二〇〇六年版の「諸家山選」五句(七百四十四名)の中から、抜き出してみる。先ずは、第五段階のオノ

マトベを、一般的に理解されている意味の通りに使った句

生も死もひよいと来るもの返り花

翼ざしぎし白鳥の真下とは

銀漢や在らばその音がうがうと

山椒魚眼ぼちりと占稀に入る

カサてふ落葉コソてふ落葉色たがへ

石代の恋どろどろとバリの猫

あたたかやふわりと浮きしもぐら塚

紫陽花のぐらりと壺にくつがへり

係はらぬ距離をさわさわ竹煮草

笛に村がざわざわしはじめぬ

わらわらと大学通り年つまる

続いて、第五段階のオノマトベだが、一般的に理解され

ている意味合いとは異なる感覚表現に使った句。

人去つて夜のきりりと枯木立

三木星童

あれあれと入りし数へ日とどまらず

からからにプール飢ゑさす麦の秋

ぶかり棧橋ぶかり秋風誰が右脳

晩年はそよそよと来よ鱈東風

無花果を煮てほのぼのと老いにけり

がつたんと年越す寝台車の中で

なつめ甘く煮るよふつふつ人死ぬよ

吾亦紅ごつんごつんと風こぼす

第四段階の創作オノマトベ句はやはり少ない。成人に

は、感性から直接言葉を読み上げるのは難しいのであろう

と思ってしまう。次の三句がかううじて該当しようが、そ

れでも、知的操作の色を帯びていることは否めない。

ぐわんらがらがら物干竿が落ちて夏

夜光虫たがよたがよと石めても

上天気なり子どものぴんこしやんこ

宮江明子

守屋明俊

諸角せつ子

大石悦子

杓谷多見夫

依田明倫

夏井いつき

美柑みつはる

成人に

は、感性から直接言葉を読み上げるのは難しいのであろう

と思ってしまう。次の三句がかううじて該当しようが、そ

れでも、知的操作の色を帯びていることは否めない。

ぐわんらがらがら物干竿が落ちて夏

夜光虫たがよたがよと石めても

上天気なり子どものぴんこしやんこ

上肥幸弘

鳥居美智子

山地春眠子

第一回 飴山實俳句賞に北側松太氏

古志

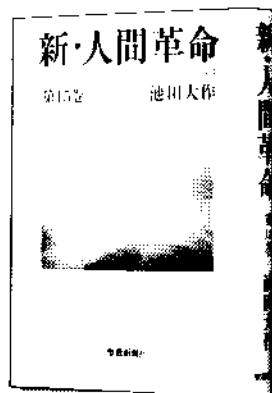
月刊

主宰 長谷川 權

〒251-0026
神奈川県藤沢市鵠沼東2-3-1901 古志社
ホームページ <http://www5d.biglobe.ne.jp/~koshi/>
郵便振替 00270-6-45198
会費(誌代・送料)一年 12,000円 見本誌1,000円

56

おかげさまで、創刊55周年。



絶賛発売中!

新・人間革命

池田大作 [第15巻]

主人公・山本伸一が世界に繰り広げる平和と勝利の大河小説

1970年、山本伸一は公害で苦しみ各地の友を最大に激励する。人間精神の荒廃に警鐘をならしつゝ、仏法のヒューマニズムを根底にした大文化運動を提案。1971年春、師弟の夢であった最高学府・創価大学が開学。若人の中に飛び込み、生命を削る思いで人間教育の大道を開く。

定価1,300円税別

聖教新聞社

〒160-8070 東京都新宿区信濃町18番03(3353 6111)

月刊俳誌

楽

主宰 阪本謙二

初心者歓迎

誌代 1年12,000円

〒790-0824

松山市御幸2-7-3

楽俳句会

TEL 089-925-8202

FAX 089-925-8203

振替 01640-8-5997

⑥ 知性派か、感性派か

歌人では、斎藤茂吉がオノマトペの短歌を多く残しているのに対して、塚本邦雄にはほとんどない。また、オノマトペ俳句にも興味は薄かったようで、例えば、その著書『華句麗句』（毎日新聞社）の中で、千余の俳句を引用しているにもかかわらず、オノマトペ俳句は二十句程度しか選んでいない。わずか1%。しかも、それらは皆、一般性を得ている擬音語・擬態語を使ったものばかりである。が、たった一句、四段階オノマトペを使った句を採っていた。

ばりすんと泰山木の花崩る

日野草城

歌人の高野公彦氏によると、「対象を（つまり世界を）感性でとらえようとすればオノマトペが多くなり、知性でとらえようとすればオノマトペは用いられない。（中略）オノマトペ使用率の高さ低さは、その歌人を内側から照らし

出す一つの明かりでもある」のだそうである。

この頃、まとまった作品を見るたびに、オノマトペの使用頻度を計算し、作者を知性派か感性派かに分類して楽しんでいる。例えば、『俳句研究』（平成十八年一月号）に藤村真理氏が「水仙」十三句を発表しているが、そのうちの三句、20%強がオノマトペ句だった。

からしはれ天心の月びりびりと
ぼつさりとぼそりと森のしづり雪

今年の俳人協会新人賞の高田正子氏の句集『花実』は、

オノマトペの巧みさでも目を惹いたが、頻度は5%弱。

土塊をちんとひねりし雛のかほ

角を曲がればひろびろとこほりたる

20%はあきらかに感性派だろうが、5%は悩むところ。何%が分岐点なのか、もっと比較してみたいとも思う。